



サービス提供能力の改善 ～フードバンク活動拡大のために～



NOVEMBER 28, 2009
セカンドハーベストジャパン
池村 裕太 代表 副
飯塚 朋也 高橋 貴
インタビュー 飯塚 朋也 代表



サマリー

SUBJECT

サービス提供能力の改善

PROBLEM

- (1) 継続的に食品を配送できていない施設が多数ある
- (2) ボランティア希望者が多いが、参加できる場が限られている

SOLUTION

フードバンク活動に特化した
ボランティアグループをつくる

フードセキュリティが
守られていない人々

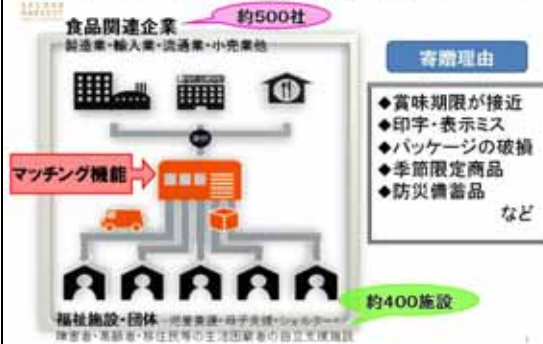
☆フードセキュリティ・・・
十分な栄養のある食事を1日3回とることができる状態のこと。

75万人以上

セカンドハーベスト ジャパン 認定



フードバンク活動とは？



現状分析(1)

配送状況

全国の提携施設数

関東圏内の内訳

関東圏以外 150 関東圏 250

定期配送 100 不定期配送 150

定期配送：月に1回以上の配送
不定期配送：月に1回以下の配送

月に1回以上
配送できていない施設数
150施設

現状分析(2)

ボランティアの参加状況

ボランティアの規模
(週平均)

70人

人数

2006 2007 2008 2009

- ボランティアの大半は、炊き出しに参加して関わられるメニューが限られている
- ボランティアの数は年々増加している

現状分析(3)

サービス提供能力の改善が必要

リソース(ボランティア)は十分にあるが、うまく活用できていない

配送専門のボランティアグループをつくる

配送専門のボランティアグループとは？

目的

2Hスタッフだけでは配りきれない食品・施設に対して、スタッフに替わってフードバンク活動を拡大

フードバンクに関わりたい人達に活動の場を提供する

役割

新たにフードバンクを設立する場合の設立モデル

フードバンク団体を設立したい人達に対する研修組織

FOOD BANK CLUB TOKYO

フードバンククラブ東京 (FC東京)

